

前期青銅器時代のギリシア

- 前期青銅器時代 I 前 3600～2900 年ころ
- 前期青銅器時代 II 前 2900～2500 年ころ
- 前期青銅器時代 III 前 2500～2100 年ころ

新石器時代からの移行

- 不連続面
 - 居住地の移動
 - 防御施設を伴う集落の出現
 - 公共建造物の出現 (EHII)
 - 土器における変化
 - 南部ギリシアの急速な発展
 - 北部ギリシアの停滞
- 連続面
 - 墓地
 - 青銅
 - 建築に使用されるメガロン

前期青銅器時代 I

- 土器
 - 小型の注口土器・カリケー
 - 赤字に白、ベージュ地に褐色
- ギリシア南部の人口増加
 - 4～5倍 (c f. ギリシア北部 2倍)
- 新石器時代の居住地を放棄
 - ↑
- 海岸部 海辺の丘や半島の上
- 内陸部 平野や丘陵のふもと
- 墓地 新石器時代と連続
 - 土坑墓・・・集落の中
 - 石室墓・石郭墓・・・集落の外

前期青銅器時代 I I

- 前 2900～2500 年ころ
- 土器
 - ソースボート・フライパン型土器
 - 黒地に灰色ないし赤色
- 住居
 - 集落数の急増

- ペロポネソス半島 20→74
- 前期の延長
- 丘陵部上
- 二重・三重の周壁と稜堡
- 巨大な公共建造物
- レルナのタイルの家
- 25m×12m
- 鍍や石器

前期青銅器時代 I I I

末期に破壊

- タイルの家は火災によって失われる
- 前 2500～2100 年ころ
- 文化的には中期青銅器時代の先駆
- ↑
- アプシダルハウスの普及
- 轆轤の普及
- 原ミニュアス式土器
- 鈍彩土器 (マット・ペインテッド)
- 居住地内埋葬の再発
- 前期青銅器時代 II 末での破壊
- レルナ・ズグリエス・ハギア=マリナ・キッラ
- ↓
- ミニュアス人 (原ギリシア人) の侵入?
- 現在では批判的
- アイギナのコロナ・ティリンスの下町
- 断絶面はわずか
- 中部ギリシア
- 二種類の飲料用の器
- ウーゾ型のカップ・タンカルド
- アドリア式土器
- 線刻
- 白色の刻線・押紋土器
- ↑
- ルーマニア・トラキアなどバルカン半島